

令和5年11月16日

保護者様

新座市立栗原小学校長

古澤 健史

ノロウイルス等による感染性胃腸炎の予防について

日頃より本校の教育活動に、御理解御協力をいただきありがとうございます。

さて、例年冬季に流行するウイルス性疾患に、感染性胃腸炎があります。

下記の点について、御家庭でも御留意いただき、感染予防に努めていただくようお願いいたします。

記

1 感染性胃腸炎について

- ・ 主な原因ウイルスとして、ノロウイルス、ロタウイルスなどが挙げられます。
- ・ ノロウイルスによる感染性胃腸炎の潜伏期間は通常1～2日で、嘔吐や下痢が主な症状ですが、まれに、発熱、頭痛、全身倦怠感を伴うことがあります。
- ・ 感染経路としては、糞口（経口）感染、接触感染、飛沫感染や食品を介しての感染などがあります。便中に多くのウイルスが排出されており、吐物の感染力も強く、乾燥して空気感染が発生することもあります。

2 感染の予防について

- ・ 外出後の手洗い・うがいを徹底し、特に食事の前やトイレの後には、十分に手を洗うようにします。
- ・ 魚介類を中心に、食品衛生に注意し、十分な加熱調理を行います。
- ・ 嘔吐物を処理する際は使い捨て手袋、マスク及びエプロン等を着用し、ペーパータオル等を用いて静かに拭き取り、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤等）で浸すように拭いた後、水拭きしてください。

3 その他

- ・ 体調不良が認められた場合は、早めに医療機関を受診してください。
なお、感染性胃腸炎と診断された場合は、速やかに学校へ連絡をお願いいたします。
- ・ ノロ（ロタ）ウイルスの出席停止期間：病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで。【学校保健安全法施行規則第19条】